

# 県立学校改革推進プランに係る評価

(平成26年度再編実施分)

平成29年9月

県立学校改革推進課

# 目次

---

I	評価の概要	1
1	評価の目的	1
2	評価の進め方	1
3	評価対象	1
4	評価区分とスケジュール	3

---

II	評価	4
1	普通科及び普通系専門学科・コース	4
(1)	教員基礎コースの設置	4
(2)	医歯薬コースの設置	5
(3)	理数に関する学科の設置	6
(4)	医療・福祉コース<医療コース>の設置	7
2	職業系専門学科及びコース	8
(1)	医療・福祉コースの設置<福祉コース>の設置	8
(2)	工業教育拠点校の設置	9
(3)	コンソーシアムの設置	10
3	社会のニーズに対応した教育	11
(1)	緑地管理コースの設置	11
(2)	防災の学びの導入	12

---

III	資料	13
1	アンケート調査	13
2	聴き取り調査	22
3	外部関係団体の意見	32
4	基礎データ	36

# 県立学校改革推進プランに係る評価（平成 26 年度再編実施分）

## I 評価の概要

### 1 評価の目的

県立学校改革推進プラン（以下「プラン」という。）の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的として評価を実施します。

### 2 評価の進め方

#### (1) 調査の時期

再編の実施年度から3年が経過した、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価を取りまとめます。

#### (2) アンケート調査、聴き取り調査等の実施

ア 再編実施校の生徒及び保護者を対象に、アンケート調査を実施します。コース設置の場合にはコース選択者以外にも抽出してアンケート調査を実施します。

イ 再編実施校を訪問して、聴き取り調査を実施します。

ウ 再編実施校の近隣中学校にアンケート調査を実施します。

#### (3) 評価の作成

ア 調査結果は「普通科及び普通系専門学科・コース」「職業系専門学科・コース」「総合学科」「社会のニーズに対応した教育」「県立学校の適正規模・適正配置」の再編種別に大別・整理して、取りまとめを行います。

イ 取りまとめた調査結果について、教育関係団体、産業関係団体、その他外部・関係団体から意見聴取を実施します。

ウ 意見聴取等を踏まえ、再編種別ごとに「成果と課題」及び「今後の取組の方向性」について取りまとめます。

#### (4) 評価の公表

評価結果については、教育政策課の実施する政策評価（「教育委員会の点検・評価」）において公表します。

### 3 評価対象（平成 26 年度再編実施分）

#### (1) 普通科及び普通系専門学科・コース

ア 教員基礎コース（千葉女子高校・安房高校）

イ 医歯薬コース（東葛飾高校）

ウ 理数科（佐倉高校）

エ 医療・福祉コース<医療コース> (長狭高校)

(2) 職業系専門学科・コース

ア 医療・福祉コース<福祉コース> (長狭高校)

イ 工業教育拠点校 (千葉工業高校)

ウ コンソーシアム (事務局千葉工業高校)

(3) 社会のニーズに対応した教育

ア 緑地管理コース (鶴舞桜が丘高校)

イ 防災の学び (銚子高校)

#### 4 評価区分とスケジュール

再編年度	評価年度	普通科及び普通系専門学科・コース	職業系専門学科・コース	総合学科	社会のニーズに対応した教育	適正規模・適正配置
H24	H26				泉 ・地域連携アクティブスクール 天羽 ・地域連携アクティブスクール	
H25	H27	柏井 ・国際コミュニケーションコース	松戸向陽 ・福祉教育拠点校 ・福祉コース			
H26	H28	千葉女子 ・教員基礎コース 東葛飾 ・医歯薬コース 佐倉 ・理数科 長狭 ・医療・福祉コース ＜医療コース＞ 安房 ・教員基礎コース	千葉工業 ・工業教育拠点校 ・コンソーシアム 長狭 ・医療・福祉コース ＜福祉コース＞		銚子 ・防災の学び 鶴舞桜が丘 ・緑地管理コース	
H27	H29	成田国際 ・グローバルスクール	茂原樟陽 ・農業教育拠点校 小見川 ・福祉コース		船橋古和釜 ・地域連携アクティブスクール 流山北 ・地域連携アクティブスクール 銚子商業 ・海洋環境コース 館山総合 ・観光の学び ・栽培環境コース	大原 ・統合
H28	H30	松尾 ・グローバル化に関する学び	千葉工業 ・理数工学科	小金 ・総合学科	東葛飾 ・中高一貫教育校 成東 ・単位制	
H29	H31	木更津 ・理数科 匝瑳 ・国際に関するコース	佐倉西 ・福祉コース			
H30	H32	我孫子 ・教員基礎コース 君津 ・教員基礎コース	千葉商業 ・学科再構成 流山 ・学科再構成 成田西陵 ・学科再構成 下総 ・学科再構成 多古 ・学科再構成	旭農業 ・学科再構成 大網 ・学科再構成 茂原樟陽 ・学科再構成 鶴舞桜が丘 ・学科再構成 君津商業 ・学科再構成	安房 ・単位制	
H31	H33	市川南 ・保育基礎コース	我孫子東 ・福祉コース	幕張総合 ・総合学科	市原八幡 ・防災の学び	市原 鶴舞桜が丘 ・統合

## II 評価

### 1 普通科及び普通系専門学科・コース

#### (1) 教員基礎コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

#### ア 第1次実施プログラムにおける教員基礎コースの設置

##### (ア) 対象校

- ・千葉女子高校 普通科
- ・安房高校 普通科

##### (イ) 再編の内容

- ・教育に関心を持ち、将来教員を目指す生徒が、教員としての基本的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等をはぐくむため、千葉女子高校と安房高校に教員基礎コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・千葉女子高校では、1学年からコースに分かれ、コース選択者には学校設定科目「教育基礎」（2単位）、「教育体験」（2単位）を設定し、平成28年度卒業生のうち53名が履修しています。
- ・安房高校では、2学年からコースに分かれ、コース選択者には学校設定科目「教員基礎」（2単位）、「教員基礎課題研究」（1単位）を設定し、平成28年度卒業生のうち18名が履修しています。
- ・連携大学の職員による特別授業や、小中学校等での体験実習を行っています。
- ・両校のコース選択者のうち60.6%（43人）が教員になることを目指し進学しています。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題（○成果・●課題）

- 大学職員による特別授業や小中学校等での体験実習はコース選択者に好評で、保護者の満足度も高い状況です。
- 学びを通して、自身のキャリアについて真剣に考えることができ、勤労観、職業観の育成に寄与していると考えられます。
- コース選択者が中学校を訪問しコースの紹介を行うなど、効果的な広報活動を展開しています。
- 更なる充実のためには、小中学校や大学等の関係機関との連携をより深めることが重要です。

##### ■今後の取組の方向性

- 教職体験実習の内容や実施方法について、関係機関と十分協議を行い、実習の充実を図ります。

## (2) 医歯薬コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

### ア 第1次実施プログラムにおける医歯薬コースの設置

#### (ア) 対象校

- ・東葛飾高校 普通科

#### (イ) 再編の内容

- ・本県の医師不足の実態を踏まえ、地元医療機関等との連携による医療体験等をとおして地域医療に対する理解と関心を高め、医療従事者（医師、歯科医師、薬剤師等）になる意欲を醸成し、将来の地域医療を担う人材の育成を図るため、東葛飾高校に医歯薬コースを設置します。

### イ 実施状況

- ・2学年からコースに分かれ、コース選択者には学校設定科目「医歯薬研究1」（1単位）、「医歯薬研究2」（1単位）、3学年からは「医歯薬研究3」（1単位）を設定し、平成28年度卒業生のうち40名が履修しています。
- ・医療関係機関でのインターンシップ体験等を行っています。
- ・コース選択者のうち55.0%（22人）が医師、歯科医師、薬剤師になることを目指し進学しています。

### ウ まとめ

#### ■成果と課題（○成果・●課題）

- 進路目標が明確な生徒が多く、積極的に学習に取り組んでいます。
- コースでの学びにより、医療従事者としての適性を確認することができるとともに、人のために働くことの素晴らしさや奉仕の心が涵養されました。
- 医歯薬コースについて、医学部に入学するための受験対策を行い、医学部を設置する大学を紹介するコースであると捉えている生徒や保護者が若干見受けられることから、医歯薬コースの役割について、より詳細な広報が必要です。

#### ■今後の取組の方向性

- 医歯薬コースの意義や学びの内容等について、より効果的な広報を行うための方法について検討します。

### (3) 理数に関する学科の設置

理数科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 将来の国際的な科学技術系人材の育成を目指し、生徒・社会のニーズや地域バランス等を踏まえ、理数科を新たに2校程度に設置します。

#### ア 第1次実施プログラムにおける「理数に関する学科」の設置

##### (ア) 対象校

- ・佐倉高校 理数科

##### (イ) 再編の内容

- ・将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、佐倉高校に理数に関する学科を設置します。

#### イ 実施状況

- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、国際性を兼ね備えた未来の科学者・技術者を育成するためのプログラムの研究開発を行っています。
- ・学校設定教科「スーパーサイエンス」を設定し、科学的に探究する能力及び態度の育成と専門的な知識、技能の深化を図っています。
- ・海外研修を行い、連携する高校での英語による発表会や大学の研究室訪問を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上と科学英語を身に付け、国際性を養っています。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題（○成果・●課題）

○課題研究を通して、生徒は課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付けています。

○大学や企業との連携により、先進の学びや技術について触れる機会を得ています。

●理数科の活動内容の広報について、特に、学びの利点や特色をさらに明確にする必要があります。

##### ■今後の取組の方向性

➤理数科の活動内容について、ホームページや中学生・保護者対象の説明会等で積極的に広報します。



#### (4) 医療・福祉コース<医療コース>の設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

#### ア 第1次実施プログラムにおける「医療コース」の設置

##### (ア) 対象校

- ・長狭高校 普通科

##### (イ) 再編の内容

- ・近隣に位置する医療施設や医療大学との連携により、医療と福祉をリンクさせた教育が展開できるよう、長狭高校に医療・福祉コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・学校設定科目「生活と医療福祉」（1単位）を設定し、1学年全員が履修しています。
- ・2学年からコースに分かれ、コース選択者には学校設定科目「基礎看護」（2単位）、3学年からは「医療体験実習」（1単位）を設定し、平成28年度卒業生のうち23名が履修しています。
- ・2学年では、医療従事者による講演会や出前授業、医療施設の見学や医療体験実習を近隣の医療関係機関で行っています。
- ・3学年では、自らの進路を見据えた医療体験実習を近隣の医療関係機関で行っています。
- ・コース選択者のうち91.3%（21人）が看護師、理学療法士等になることを目指し進学しています。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題（○成果・●課題）

- 進路目標が明確な生徒が多く、積極的に学習に取り組んでいます。
- 医療現場には医師、看護師の他にも様々な職種があり、チームとして医療に取り組むことの大切さについての理解が進んでいます。
- 医療や福祉関係の進学や就職しか選択できないという認識が生じています。

##### ■今後の取組の方向性

- 中学生やその保護者、中学校関係者に対して、進路状況等についての適切な広報を検討します。

## 2 職業系専門学科及びコース

### (1) 医療・福祉コース<福祉コース>の設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

#### ア 第1次実施プログラムにおける「福祉コース」の設置

##### (ア) 対象校

- ・長狭高校 普通科

##### (イ) 再編の内容

- ・地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランスを考慮し、長狭高校に医療・福祉コースを設置します。
- ・近隣に位置する医療施設や医療大学との連携により、医療と福祉をリンクさせた教育が展開できるよう配慮します。

#### イ 実施状況

- ・学校設定科目「生活と医療福祉」（1単位）を設定し、1学年全員が履修しています。2学年からコースに分かれ、介護職員初任者研修の修了を目指しています。
- ・平成28年度は2年生14名、3年生9名が履修しました。
- ・コース選択者は、2学年で「社会福祉基礎」（4単位）、「介護総合演習」（2単位）などの科目を履修し、医療従事者や福祉施設職員等による講演会や出前授業、それぞれの職種についての施設見学や実習を医療関係機関で行っています。3学年では将来の進路を見据えた専門的な介護体験実習を行います。
- ・コース選択者のうち33.3%（3人）が介護関係の進路へ進んでいます。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題（○成果・●課題）

- 進路目標が明確な生徒が多く、積極的に学習に取り組んでいます。
- 学習内容に対する満足度も高く、生徒のニーズに応じています。
- 資格を活かした就職や、より高い資格の取得を目指した進学など、社会の要請等に応えた人材を育成し、職業的自立に向けた能力や態度を育てています。
- 福祉の仕事については重労働等のイメージがありますが、やりがいのある仕事であることを、生徒に更に伝える必要があります。

##### ■今後の取組の方向性

- 福祉に興味・関心を抱く生徒を増やすため、早い段階から福祉という職への理解や必要性について丁寧に説明します。

## (2) 工業教育拠点校の設置

### 工業科の具体計画の方向(プランより抜粋)

- 進学を視野に入れた教育や、より一層の資格取得の充実を推進するとともに、工業教育の手法について、研究・開発を一層推進し、県全体の工業教育の底上げを図るため、工業教育の拠点校を設置します。

#### ア 第1次実施プログラムにおける工業教育拠点校の設置

##### (ア) 対象校

- ・千葉工業高校

##### (イ) 再編の内容

- ・工業教育の手法について、研究・開発を一層推進するとともに、県全体の工業教育の底上げを図るため、千葉工業高校を工業教育の拠点校とします。
- ・拠点校は、他の工業科設置校の、それぞれの特色を生かした各専門分野(科目)の中心校として取組を把握するとともに、取りまとめ、そのノウハウや情報を各工業科設置校に提供します。

#### イ 実施状況

- ・拠点校で理事会を定期的開催しています。
- ・理事会では、拠点校の取組内容を発表するとともに、各研究委員会の運営状況等を確認し、活発な意見交換を行っています。
- ・加盟校に対する情報の発信が適切に行われています。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題(○成果・●課題)

- 工業科設置校全体で資格取得に向けて足並みを揃えて取り組むなど、工業高校全体のレベルアップを目指す雰囲気醸成されています。
- 拠点校がスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)に指定され、拠点校の生徒・職員の研究活動に対する意欲が向上しています。
- 拠点校として取り組む具体的な内容について、外部に対してわかりやすく示す必要があります。
- 工業教育の底上げを行うために必要となる先進的な取組事例に関する情報を、他県からも積極的に収集し、県内の工業科設置校と共有することが必要です。

##### ■今後の取組の方向性

- 拠点校として工業教育に資する質の高い情報発信を行うため、県内企業と共同で研修等を行うことを検討します。

### (3) コンソーシアムの設置

#### 工業科の具体計画の方向 (プランより抜粋)

- 工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、拠点校を中心として、企業（工業団地）・大学・研究機関・現代産業科学館・地域・行政機関等との連携を一層推進する組織（コンソーシアム）を設置します。  
その際、高等専門学校のような高度な学びの場の創設等についても検討します。

#### ア 第1次実施プログラムにおけるコンソーシアムの設置

##### (ア) 対象校

- ・千葉工業高校

##### (イ) 再編の内容

- ・コンソーシアム事務局を中心に、工業科設置校と行政機関、関係団体の中にネットワークを構築し、情報・ノウハウ及び研究成果等の共有を図ります。
  - a 大学・高専等との連携  
大学や高等技術専門校等と連携し、生徒が大学等の講義に参加するなど、各専門分野のスペシャリスト育成のための教育を充実させます。
  - b 先進企業との連携  
先進企業と連携した学習を取り入れるなど、実践的な専門教育について積極的に研究します。

#### イ 実施状況

- ・企業との意見交換会などのイベントに、各校の生徒が積極的に参加しています。
- ・研究発表会における生徒のプレゼンテーション等、人材育成に向けた質の高い取組が見られます。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題 (○成果・●課題)

- コンソーシアムを通じて大学、企業等との連携が深まり、活発に工業高校について意見交換が行われ、工業高校の取組に対する理解が進んでいます。
- コンソーシアムの取組内容が、参加者以外に認知されていない現状があり、中学生やその保護者、県内企業等に対する積極的な広報が必要です。

##### ■今後の取組の方向性

- 中学生やその保護者、県内企業等への広報を含め、これまでの話し合いの中で出された課題に対して、解決するための目標と達成するための具体的な方策について検討します。

### 3 社会のニーズに対応した教育

#### (1) 緑地管理コースの設置

観光・環境・防災に関する教育の具体計画の方向（プランより抜粋）

##### 《観光》

- 千葉県のおもてなし観光資源（豊かな自然、歴史的遺産、国際空港、ゴルフ場、マリンスポーツ等）を有効活用し、観光についても学べる新たな系列（総合学科）やコース、科目等を設置します。
- 各専門教育との関連の中で、地域や産業の理解、地域振興の在り方などの観光教育を通して、地域への愛着や理解、人との接し方、観光客のもてなしの気持ちなどの知識・技能・態度を養います。

#### ア 第2次実施プログラムにおける緑地管理コースの設置

##### (ア) 対象校

- ・鶴舞桜が丘高校 食とみどり科

##### (イ) 再編の内容

- ・地域の自然や産業などを観光資源として、その意義や役割を理解し、地域観光産業で活躍できる人材を育成するため、鶴舞桜が丘高校の食とみどり科に緑地管理コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・2学年からコースに分かれ、学校で独自に設定した「ターフ管理」（4単位）、「ガーデニング」（4単位）、「環境創造デザイン」（2単位）を履修し、芝生の管理について学習するとともに、造園技術の習得も目指しています。
- ・平成28年度のコース選択者の3年生は15名です。
- ・鶴舞カントリー倶楽部と連携し、インターンシップを行うなど、地域の教育力を活用し、実践的・体験的な授業を実施しています。
- ・コース選択者のうち33.3%（5人）が緑地管理関係の企業に就職しています。

#### ウ まとめ

##### ■成果と課題（○成果・●課題）

- 高校卒業後の進路目標が明確で、積極的に学習に取り組む生徒が多いです。学習内容に対する満足度も高く、生徒のニーズに応えています。
- ゴルフ場等の地域観光産業に就職する生徒がおり、緑地管理についての興味や関心を育みつつ、社会人としての技能や職業観の育成に寄与しています。
- 今まで以上にゴルフ場等の地域観光産業への就職を増やす必要があります。

##### ■今後の取組の方向性

- 今まで以上に地域観光産業で活躍できる人材を育成するため、市原高校との統合後も、外部団体との連携を深める等により、引き続き授業や進路指導を充実させていきます。

## (2) 防災の学びの導入

観光・環境・防災に関する教育の具体計画の方向(プランより抜粋)

《防災》

- 東日本大震災の経験を踏まえ、各学校の防災教育の充実を図るとともに、必要に応じて防災について学べる科目等を設置します。

### ア 第1次実施プログラムにおける「防災の学び」の導入

#### (ア) 対象校

- ・ 銚子高校 普通科

#### (イ) 再編の内容

- ・ 東日本大震災の教訓を生かし、自然環境や社会環境との関わりを視点に据えた防災教育を推進するため、銚子高校に「防災の学び」を導入します。

### イ 実施状況

- ・ 1学年、2学年全員が、学校設定科目「防災の学び」をそれぞれ1単位ずつ計2単位履修しています。平成28年度は1学年163名、2学年162名が履修しました。
- ・ 学校独自で作成した準教科書を使用しながら、「災害発生時のメカニズムや歴史、自らの安全を確保するための行動」等を学びつつ、「災害発生時の対応等を学ぶ」ため、実践的かつ体験的な授業を展開しています。
- ・ 地域の大学や地方気象台、市消防本部と連携した学びを取り入れています。

### ウ まとめ

#### ■成果と課題 (○成果・●課題)

- 災害発生時のメカニズムやその際の対処方法に関する知識を習得しました。
- 生徒は学びの重要性や必要性について十分に認識していることから、取組状況も良好であり、学びに対する満足度も高くなっています。
- 防災宿泊研修を通して災害時の避難所運営に興味を持つ生徒が多く見られ、生徒に地域や社会との関わりを持たせることで、生徒の社会参画に寄与しています。

- 防災教育を行っている学校として、地域の認識を得るためのより一層の広報が必要です。

#### ■今後の取組の方向性

- 「防災の学び」における実践について、地域の小中学校や県立学校等に向けた情報発信に対する期待が大きいことから、教育内容とともに広報体制等について検討します。

### III 資料

#### 1 アンケート調査

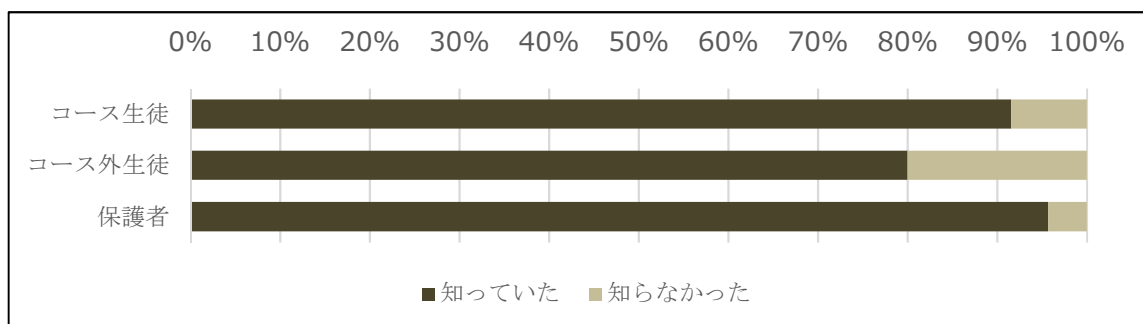
(1) 教員基礎コース（千葉女子高校・安房高校）

ア アンケートの実施

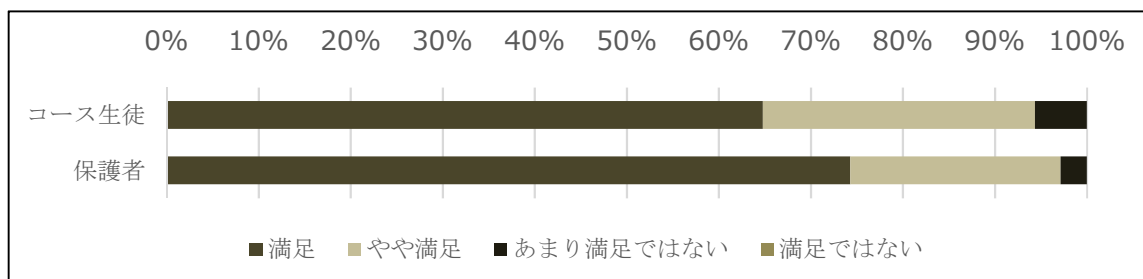
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 71、コース外生徒 90、コース選択者の保護者 70

イ 受検前に教員基礎コースがあることを知っていましたか。

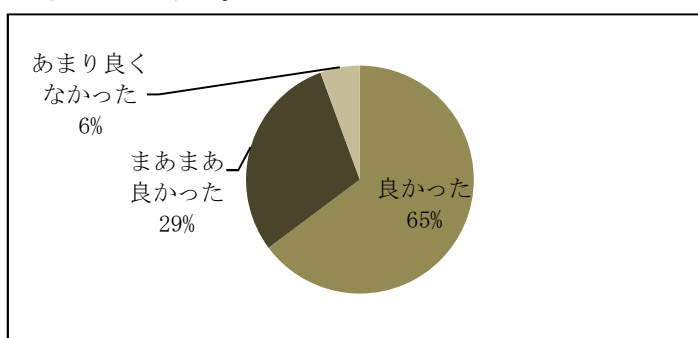


ウ 教員基礎コースの授業内容に満足していますか。



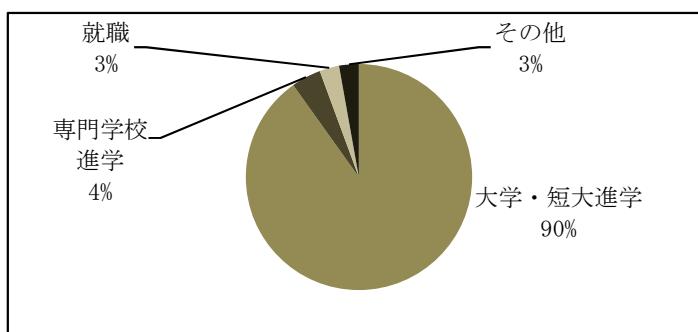
エ 「教員基礎コース」を選択して良かったですか。

- ・特別講座や体験実習で視野が広がった。
- ・教員になる夢が強くなった。
- ・夢に対する自分の心構えを再確認できた。
- ・教員ではなくても、将来役立つ知識や体験ができた。



オ 教員基礎コースの進路状況

- ・教員養成等の大学
- ・スポーツトレーナー等の専門学校
- ・警察官、飲食業
- ・大学進学のための浪人



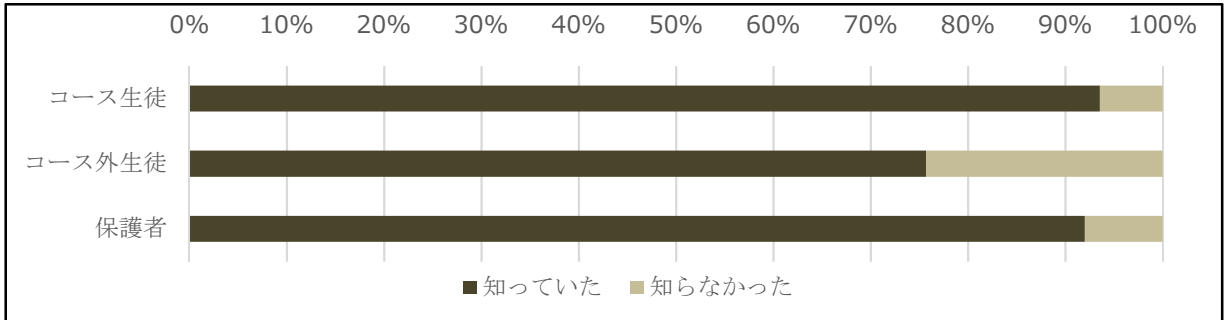
(2) 医歯薬コース（東葛飾高校）

ア アンケートの実施

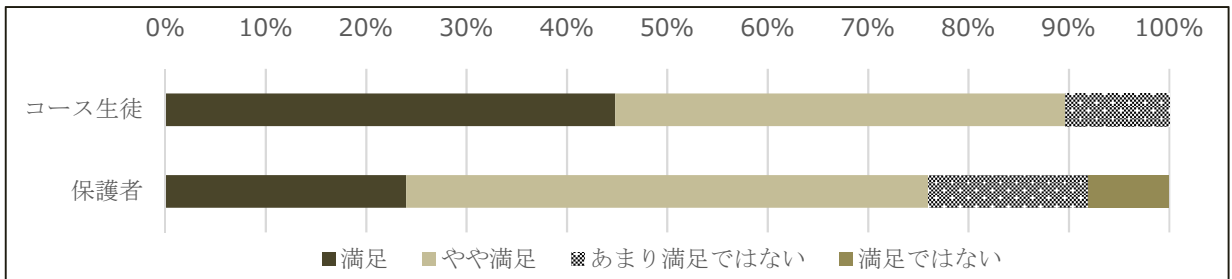
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 31、コース外生徒 37、コース選択者の保護者 25

イ 受検前に「医歯薬コース」がありましたか。

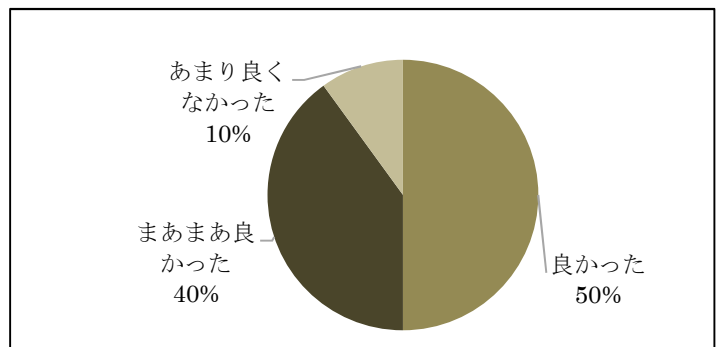


ウ 「医歯薬コース」の授業内容に満足していますか。



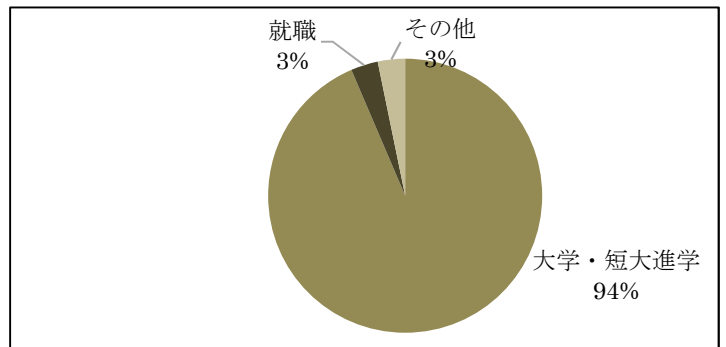
エ 「医歯薬コース」を選択して良かったですか。

- ・ 同じ職を目指す友達同士で高めあうことができた。
- ・ 医療現場の体験学習で明確な目標ができた。
- ・ 医療従事者から話を聞けることがよかった。



オ 「医歯薬コース」の進路状況

- ・ 大学進学  
(医学系・薬学系・理学系・教育系)





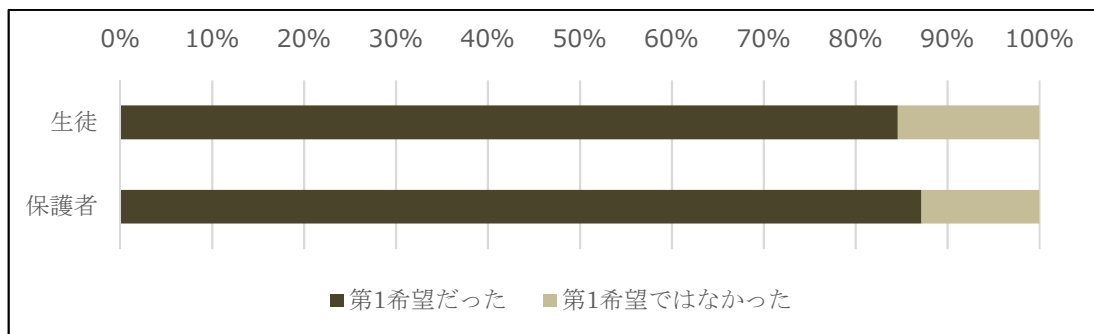
(3) 理数科（佐倉高校）

ア アンケートの実施

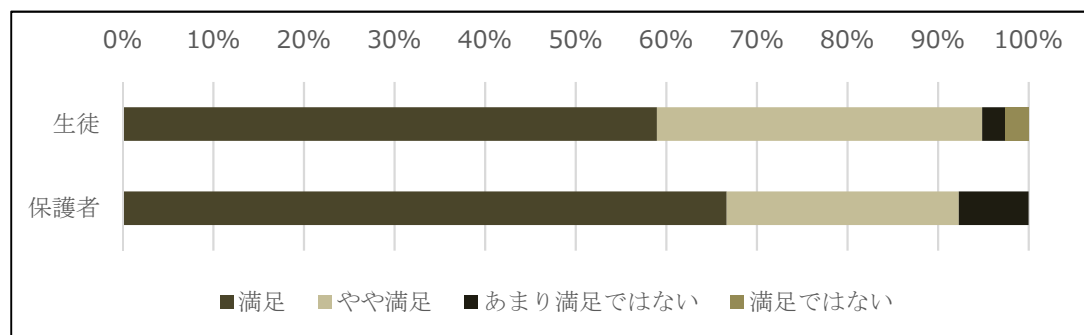
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 生徒 39、保護者 39

イ 受検前に「理数科」は第1希望でしたか。

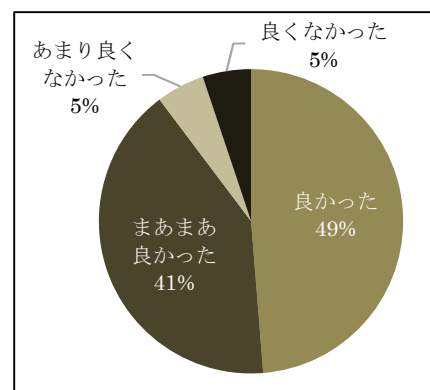


ウ 数学や理科を重視したカリキュラムに満足していますか。



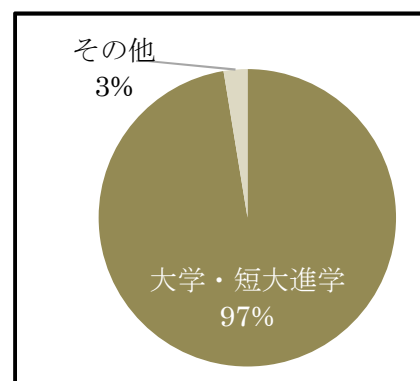
エ 「理数科」を選択して良かったですか。

- ・理・数の授業が多いので、普通科よりも、より専門的に学べた。
- ・外部機関での講座で普通ではあまり体験できないことを体験できた。
- ・海外研修・国内サイエンスツアーがとても貴重な体験だった。
- ・私の行いたかった“理科についての研究”にとりくむことができた。



オ 「理数科」の進路状況

- ・大学進学  
(医学系・薬学系・工学系・法学系・教育系)
- ・浪人



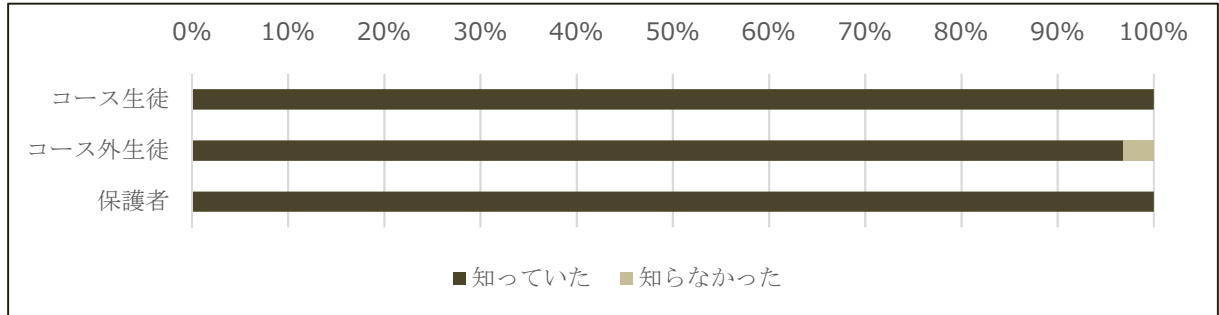
(4) 医療コース（長狭高校）

ア アンケートの実施

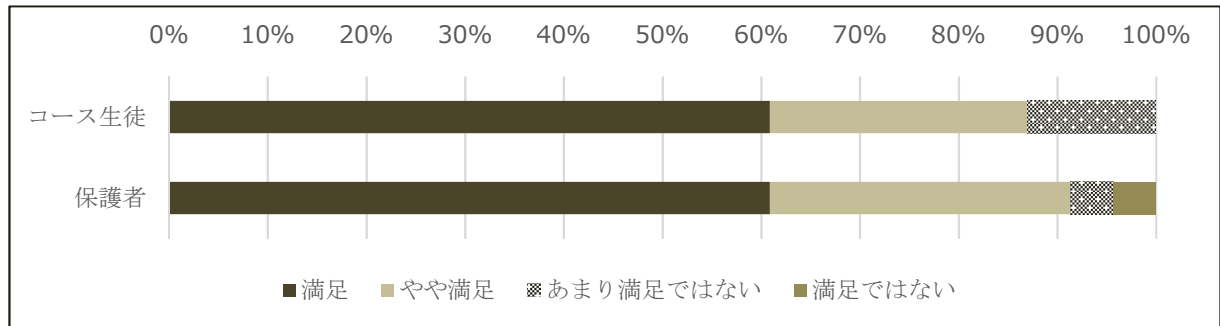
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 23、コース外生徒 40、コース選択者の保護者 23

イ 受検前に「医療コース」があることを知っていましたか。

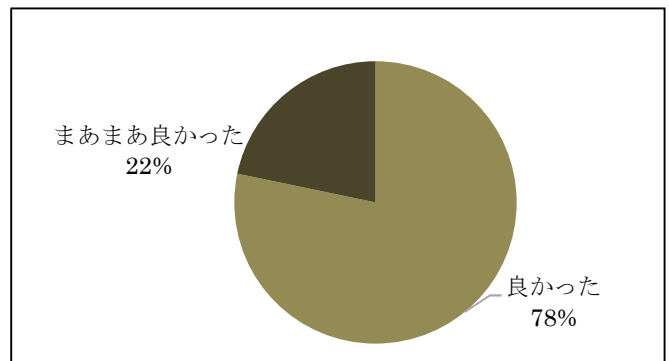


ウ 「医療コース」の授業内容に満足していますか。



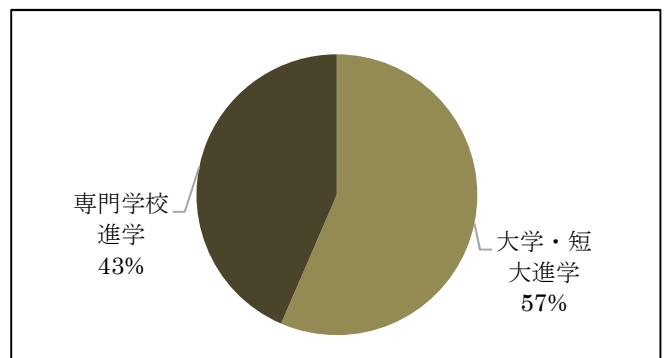
エ 「医療コース」を選択して良かったですか。

- ・医療現場を実際に見学させてもらい、自分の知らないことを知ることができた。
- ・目指す職業を決めることができた。
- ・自分のやりたいことがはっきり決まった。
- ・充分すぎる体験ができた。
- ・実際の医療現場を見学することができた。
- ・看護師になりたいという思いが強くなった。



オ 「医療コース」の進路状況

- ・大学進学  
(看護・理学療法士)
- ・専門学校進学  
(看護・理学療法士・作業療法士)



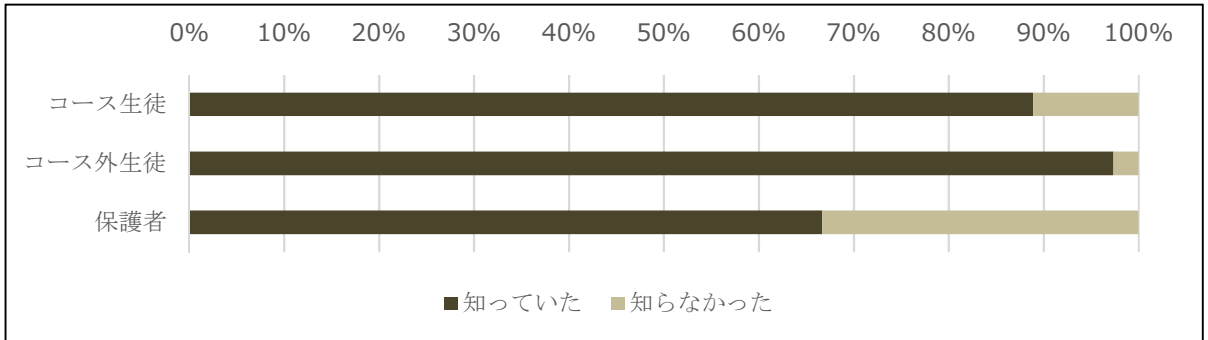
(5) 福祉コース（長狭高校）

ア アンケートの実施

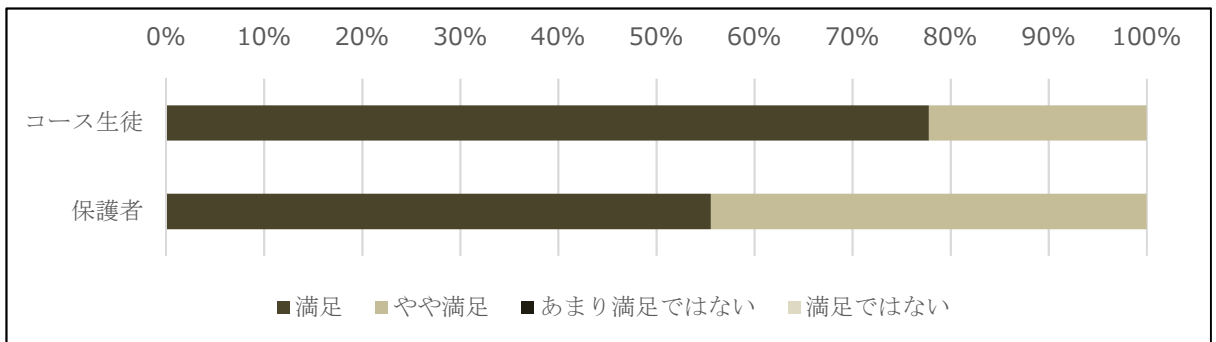
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 9、コース外生徒 38、コース選択者の保護者 9

イ 受検前に「福祉コース」があることを知っていましたか。

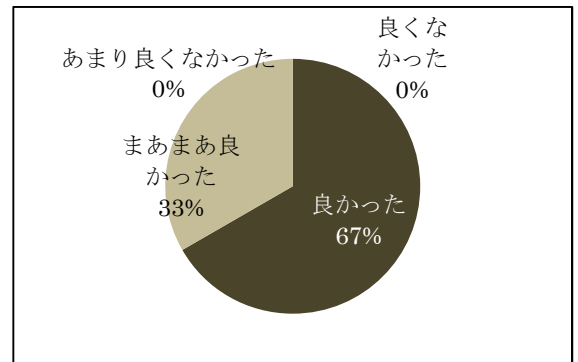


ウ 「福祉コース」の授業内容に満足していますか。



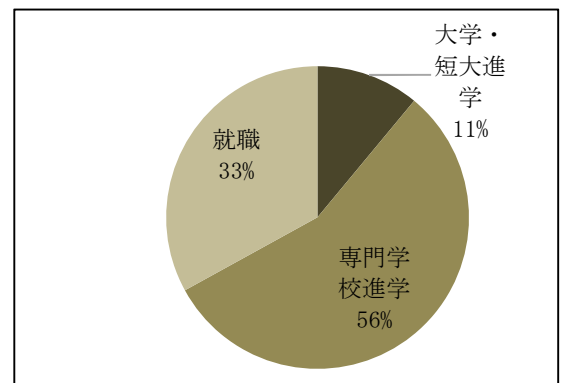
エ 「福祉コース」を選択して良かったですか。

- ・資格が取れたこと。福祉コースに入ったことで、将来なりたい職業が見つけられた。
- ・福祉の進路について将来への不安が少し無くなった。
- ・資格を取ることができたから。普通の高校生では学べない内容の授業を聞いた。
- ・自分の視野が広がった。熱心な先生に会えた。
- ・資格が取れたのはよかったが、進学や就職の試験が早い時期だったので、勉強の両立が難しい。



オ 「福祉コース」の進路状況

- ・進学（大学、専門学校）  
社会福祉関係、看護関係
- ・就職  
介護職、サービス業等



(6) 工業教育拠点校

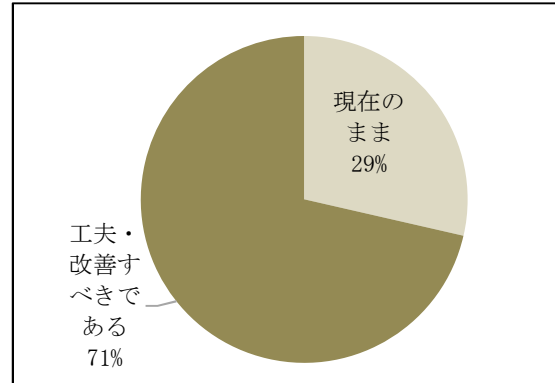
ア アンケートの実施

(ア) 実施時期 平成 29 年 3 月

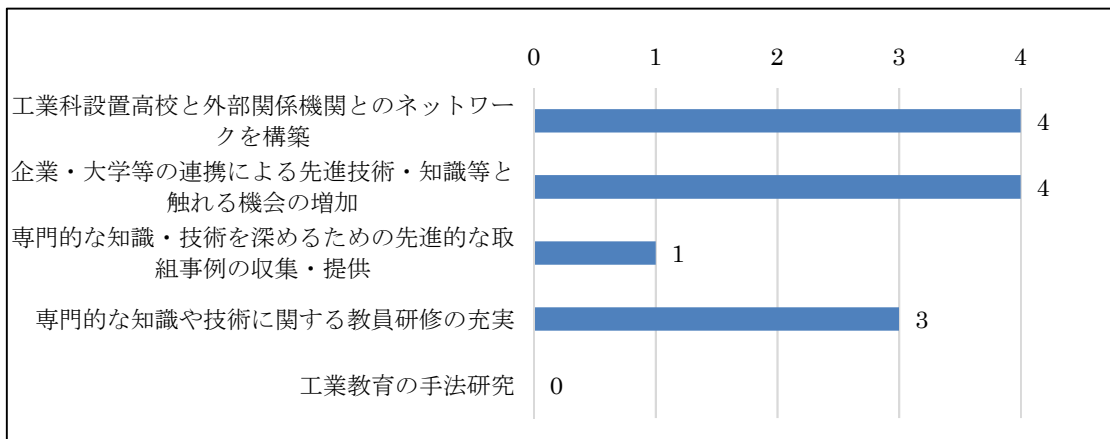
(イ) 回答数 工業科設置校 7

イ 工業拠点校について、どのようにお考えですか？

- ・拠点校とは、具体的に何を目的に、何をやるのか、明確にする必要がある。
- ・意見や情報を交換する場としては十分機能を果たしている。
- ・まとまって行動しようという雰囲気になっている。
- ・拠点校として必要な設備や人的配置が欲しい。
- ・工業教育の底上げは拠点校 1 校だけでなく、全校で取り組むべきである。



ウ コンソーシアムの取組として、期待したいものは何ですか？（2つまで）



エ 拠点校及びコンソーシアムに期待することや、工業教育の推進・充実にむけて必要と思われることを自由にお書きください。

- ・外部組織とのネットワーク構築について、8校それぞれ事情が異なるため、必要なネットワークも異なる。また、大学等との連携による先進技術等に触れる機会についても各校の状況が異なる。各校の事情に応じた対応が必要である。
- ・コンソーシアムと高校側の役割をもっと明確にし、有効に動けるようにしなければならない。
- ・就職や進学についての意見交換は有意義であり、また、大学生との交流も生徒にとっては刺激になったと思う。
- ・工業教育についての調査と、企業との意見交換の成果を生かした提言が必要である。

(7) コンソーシアム（事務局千葉工業高校）

ア アンケートの実施

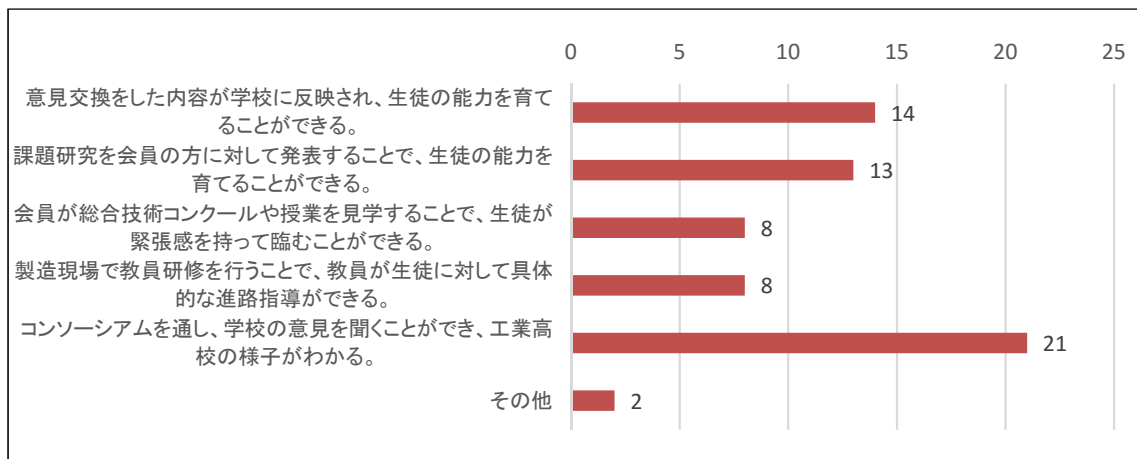
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コンソーシアム会員 33 団体

イ 千葉県の工業高校生について、コンソーシアムに参加してから、印象が変わった点がありますか。

- ・各高校の取組が少しわかったので、全体的な印象として良くなった。
- ・学力については、専門分野に関して多く学習している面があり、工業系の学科では必ずしも学力不足とは思わない。
- ・研究発表会を通じて、プレゼン能力が高いことがわかりました。
- ・総合技術コンクール、課題研究発表会、産業教育フェア等の活動を通して積極性が出てきたと思う。
- ・研究発表会の見学等を通じ、ものづくりに対する情熱を持った頼もしい工業高校生がいると感じました。
- ・普通高校の生徒と何ら学力、努力で変わらないことを再確認した。貴重な日本の若い人材である。

ウ コンソーシアムの取組で、どのような点が有意義だと思いますか（複数回答可）。



エ 工業高校生のために、連携・協力できることは何ですか。

- ・工場見学の受入、先生方との情報交換、生徒への進路説明会等への卒業生社員の派遣、等
- ・ものづくりの楽しさや素晴らしさを大学教育レベルで感じてもらうための出張授業や大学見学で協力できると考えております。
- ・就職後に学ぶ機会の情報提供、離職した際のセーフティネットの情報提供（大学の中退者は平均1割超）
- ・中学校側としては、進路選択において工業高校の様子を知らせていくこと。
- ・工業高校の取組などについて定期的に情報をいただければ、PTA協議会理事会で各郡市に情報提供することができ、親の理解につながる。
- ・普通高校を含めて、理数系、自然科学系へ取り組む学生の教育支援
- ・インターンシップの開催、教員向け工場見学会の開催

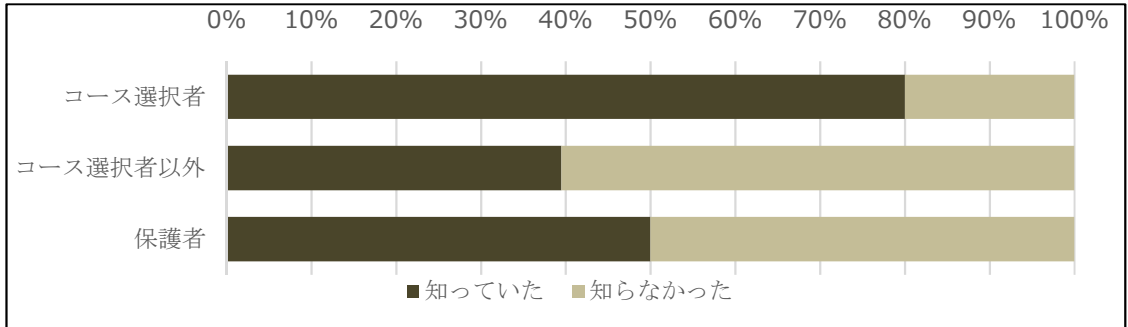
(8) 緑地管理コース（鶴舞桜が丘高校）

ア アンケートの実施

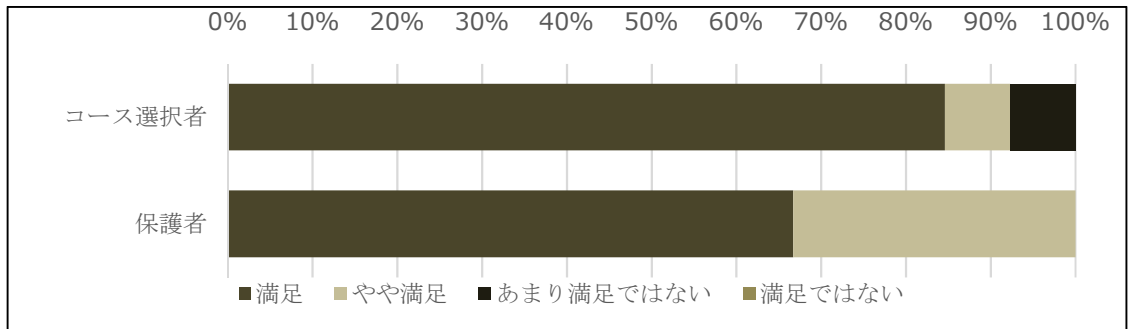
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 コース生徒 15、コース外生徒 44、コース選択者の保護者 12

イ 受検前に緑地管理コースがあることを知っていましたか。

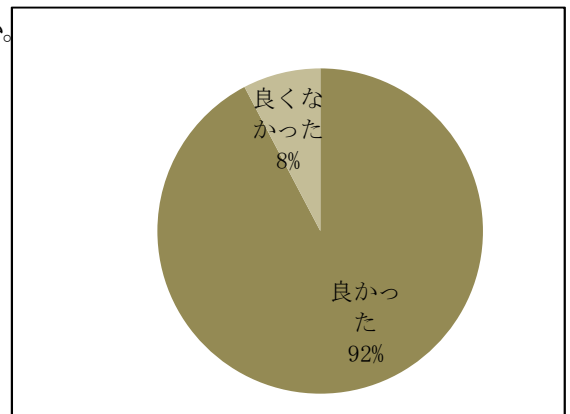


ウ 緑地管理コースの授業内容に満足していますか。



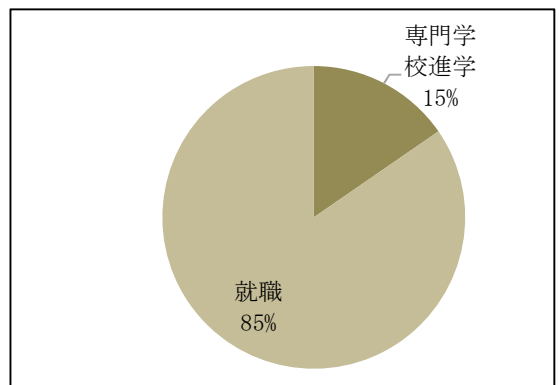
エ 「緑地管理コース」を選択して良かったですか。

- ・自分の好きなゴルフに関わることが出来た。
- ・先生方の雰囲気がとても良く、みんなの仲が良い。
- ・授業が楽しい。



オ 「緑地管理コース」の進路状況

- ・ゴルフ場に就職
- ・スーパーに就職
- ・機械設備関係の専門学校に進学



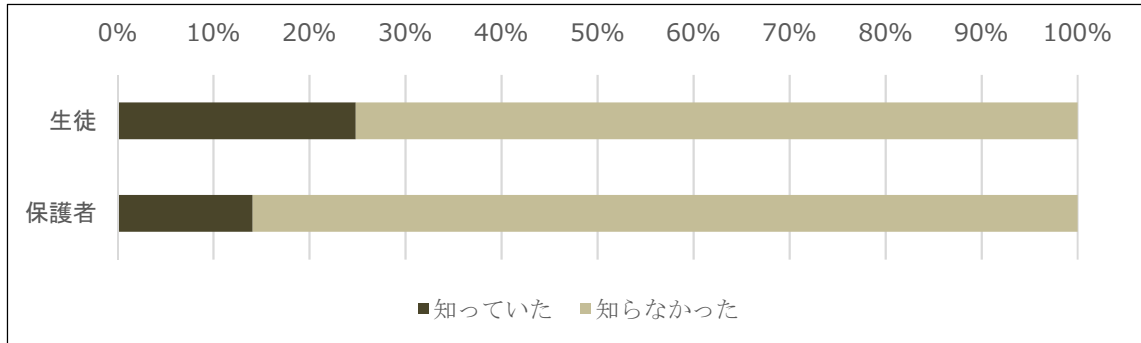
(9) 防災の学び (銚子高校)

ア アンケートの実施

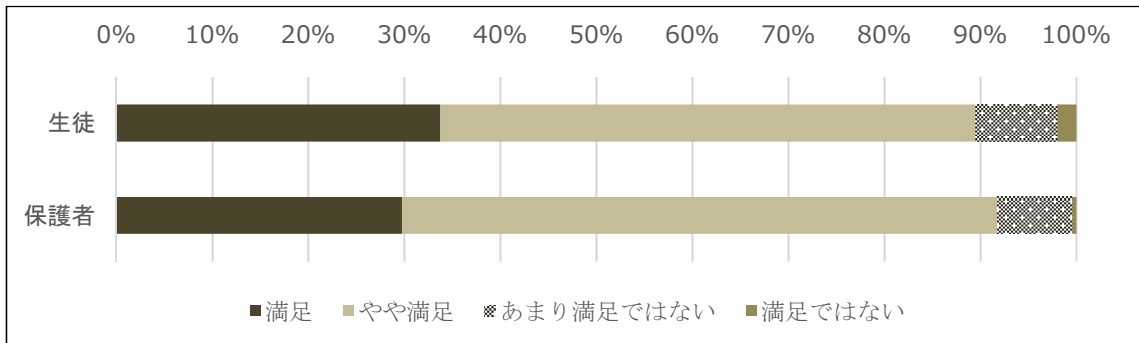
(ア) 実施時期 平成 28 年 12 月

(イ) 回答数 生徒 160、保護者 136

イ 受検前に「防災の学び」があることを知っていましたか。

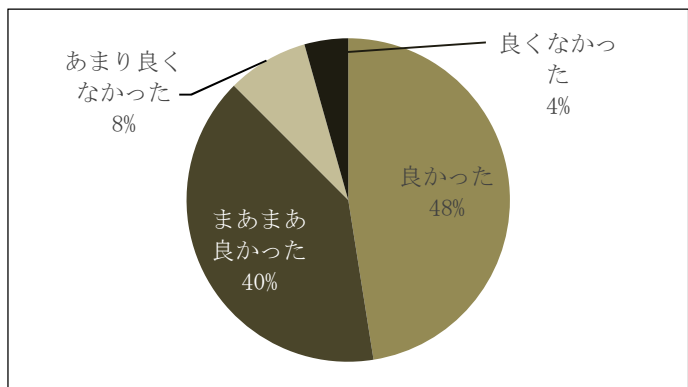


ウ 「防災の学び」の授業内容に満足していますか。



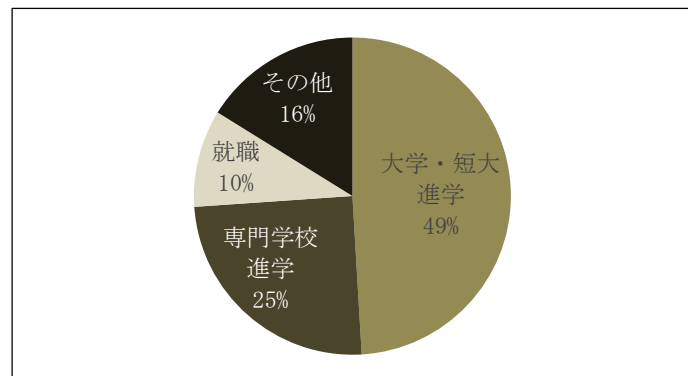
エ 「防災の学び」を学んで良かったですか。

- ・危険な時の対処法を知ることができてよかった。
- ・命の大切さを知ることができた。
- ・今まで深く考えてこなかったことを、考えるようになりいい体験になった。
- ・家族と防災について話すようになった。



オ 「防災の学び」の進路状況

- ・危機管理学関係の大学
- ・看護系の専門学校
- ・消防士を目指し公務員系の専門学校
- ・警察や公務員に就職



## 2 聴き取り調査

### (1) 教員基礎コース

#### ア 千葉女子高校・安房高校への聴き取り（抜粋）

##### (ア) 教員基礎コースの目標や特色

- ・教育に関わる意欲と関心を高め、将来の夢や希望と職業意識を育てる。
- ・教員として必要とされる基礎学力、幅広い教養、知的好奇心及びコミュニケーション能力を身に付ける。

##### (イ) 学習への取組

- ・何事にも真面目に取り組み、よく努力する生徒が多いが、一方で、授業・部活動・教員基礎コースの取組や習い事等、いくつも同時に抱え、両立が難しい生徒もいる。
- ・大学進学への意欲が高い。

##### (ウ) 教員基礎コース設置の成果

- ・教職に対する理解が深まり、教員を目指す意志を明確にした生徒が多い。
- ・教員としての自分の資質をより深く考えることができた。

##### (エ) 現在の課題

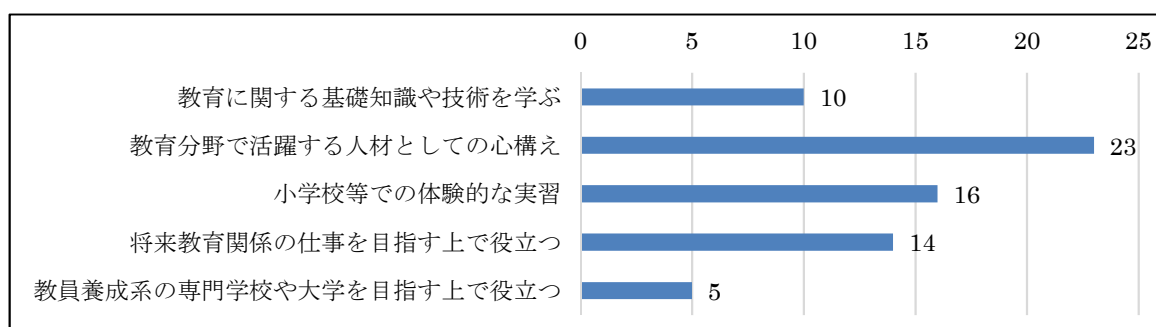
- ・土曜日の授業、学校行事との重なりなど、生徒・職員共に負担が大きい。
- ・大学との接続に進展がほしい。

##### (オ) 近隣中学校の状況

- ・コースに関しては、一定の理解を示している。日程調整は大変だが、体験実習等を積極的に受け入れてくれる。
- ・一期生が卒業となり、中学校側の評価も今後変わってくる。

#### イ 近隣中学校（34校）への聴き取り

##### (ア) 「教員基礎コース」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



##### (イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・教員としてだけではなく、社会人としての資質を身に付けてほしい。
- ・中学校へのPR（広報）を充実させ、共学校への設置が望ましいのではないかと。
- ・幅広い職業選択がある中、教員にこだわるのは疑問である。ニーズはあるのか。



## (2) 医歯薬コース

### ア 東葛飾高校への聴き取り（抜粋）

#### (ア) 「医歯薬コース」の目標や特色

- ・地域医療に対する理解と関心を高め、医療従事者になる意欲を醸成し、将来の地域医療を担う人材の育成を図る。
- ・医歯薬コースの学びの内容に関する共通理解や2学年からの円滑なコース選択を可能とするため、総合的な学習の時間において、「プレ医歯薬コース」を設置し、医歯薬コースを希望する生徒に柔軟に対応している。

#### (イ) 学習への取組

学校の授業を中心に難関大学受験に向け、早朝より熱心に学習に取り組んでいる。

#### (ウ) 「医歯薬コース」設置の成果

- ・柏市医師会と連携をすることにより、地域連携教育の1つとして「医歯薬コース」の存在が認知された。
- ・生徒が医療人を目指すことによって、人のために働くことの素晴らしさや奉仕の心が涵養された。

#### (エ) 現在の課題

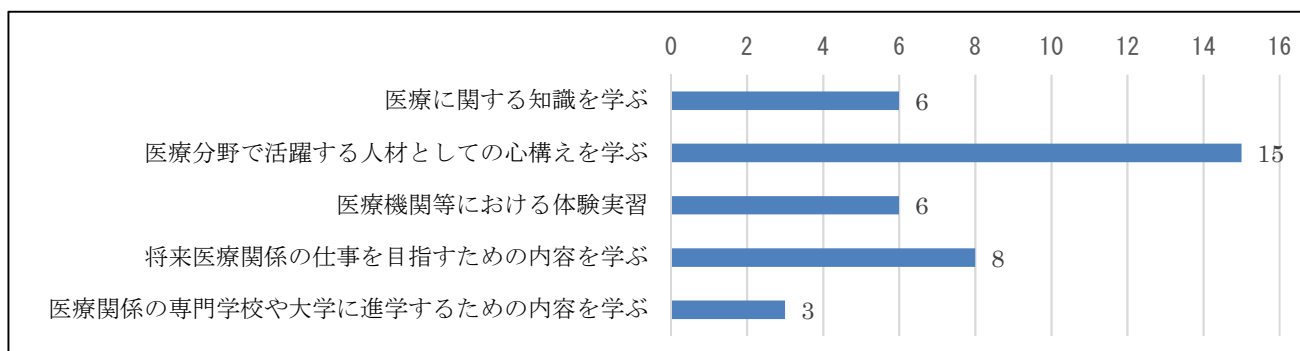
難関医学部を突破するための高い学力の育成のための補習時間等の確保。

#### (オ) 近隣中学校の状況

学校案内、学校説明会などで、「医歯薬コース」の存在とカリキュラム内容は周知されている。

### イ 近隣中学校（20校）への聴き取り

#### (ア) 「医歯薬コース」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



#### (イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・単に学力を身に付けさせるだけでなく、心の教育に力を入れていただきたい。
- ・医歯薬コースを高校から選択するメリットやその成果が見えると良いと思われる。
- ・医歯薬コースが設立されているが、内容等が周知されていないように感じます。私も、医師会の方から話を伺う程度であります。柏市内の中学校職員が医歯薬コースの授業内容や進路情報について知らない方が多いと思います。もっと情報発信し中学校へも説明されるとよいと感じます。

### (3) 理数科

#### ア 佐倉高校への聴き取り（抜粋）

##### (ア) 「理数科」の目標や特色

国際性を兼ね備えた未来の科学者・技術者を育成する。

##### (イ) 学習への取組

各科目及び課題研究に真摯に取り組んでいる。

##### (ウ) 「理数科」設置の成果

課題研究により、プランニング能力やプレゼンテーション能力の育成ができ、さらには進路決定につながった。

##### (エ) 現在の課題

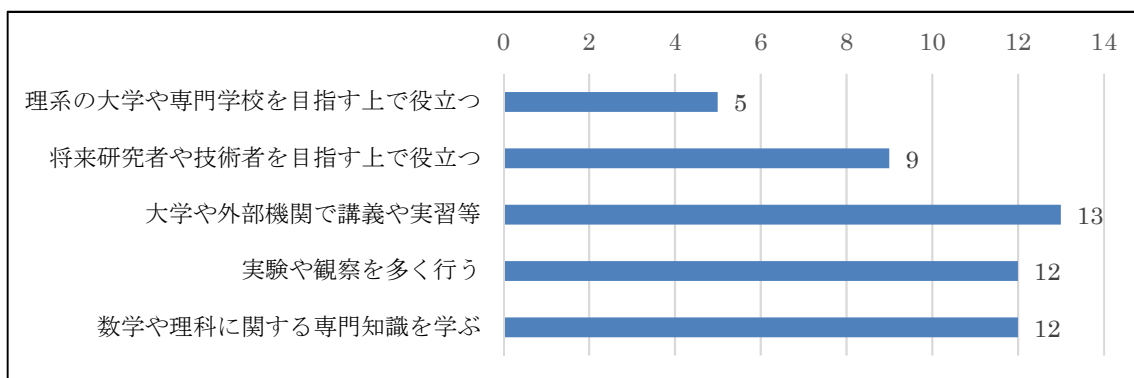
理数への関心が低くなった生徒や受験に必要ななくなった科目への学習意欲の低下が見られることがある。このような場合の進路保障をどうすればよいか。

##### (オ) 近隣中学校の状況

概ね理数科における活動について理解し良好な評価を得ている。

#### イ 近隣中学校（26校）への聴き取り

##### (ア) 「理数科」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



##### (イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・高校進学時に理数科を選択する生徒は、本当にその教科が好きであり、自信を持っていると思います。普通科の理科や数学では勉強できない内容をできるようなカリキュラムを実施してほしいです。
- ・地域の理科教育の核として小中学校との連携を今以上に活発にしてほしいです。
- ・校内におけるカリキュラムの充実をはかることも必要でしょうが、中学生に対する広報活動や校外における活動で、もう少し中学生に情報が入るようにすると子どもたちの興味、関心が高まるような気がします。
- ・生徒が興味をもったことに探究できる機会をこれからも作って頂けると幸いです。
- ・将来、研究者や技術者を目指す生徒がより増えるように、また、その時必要な実験・観察の基本的技能の習得や、研究に臨む姿勢や発想の着眼点等の充実をこれからも続けていただければと思います。

#### (4) 医療コース

##### ア 長狭高校への聴き取り (抜粋)

###### (ア) 「医療コース」の目標や特色

目標：医療に関する関心を高め、医療系大学等への進学を目指し、医療現場で活躍できる人材を育てる。

特色：・1学年全員が学校設定科目「生活と医療福祉」を履修し、医療に関する基礎知識を身に付ける。

- ・実習を通じたキャリア形成。
- ・地元病院・医療大学からの外部講師による授業展開及び同施設での実習の実施。

###### (イ) 学習への取組

コース選択者は意欲があり、積極的に授業に参加する生徒が多い。

###### (ウ) 「医療コース」設置の成果

- ・医療に関する職業や医療現場に対する認識が高まった。特に医療現場には医師、看護師の他にも様々な職があり、チーム医療の一員として医療に取り組むことの必要性について理解できた。
- ・医療系大学や専門学校への進学実績が上がった。

###### (エ) 現在の課題

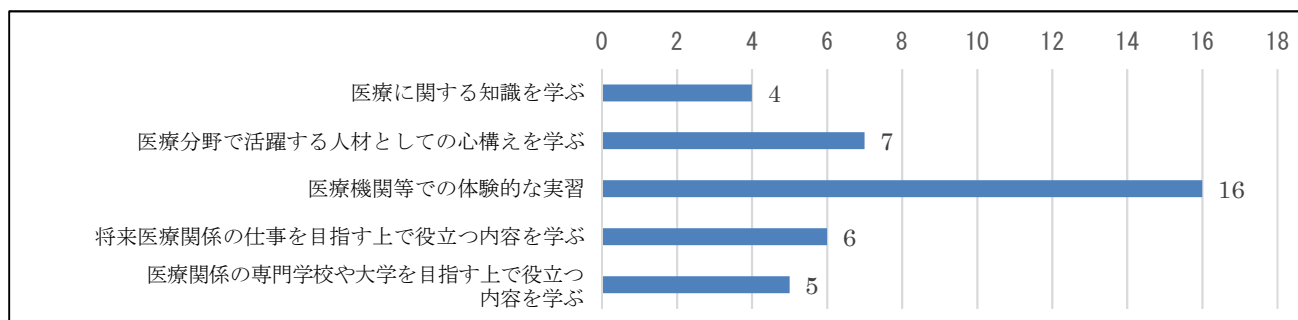
- ・医療コースの学校であるというイメージが先行し、医療系以外の大学進学を目指す入学者数に影響があった。
- ・講師派遣や実習を受け入れている医療機関との連携方法や経済的分担の均衡、実習先への移動手段の確保。

###### (オ) 近隣中学校の状況

医療コースが設置されている高校という認識が定着し、授業内容や指導体制が高く評価されている。医療や福祉の進路を考えている生徒に入学を勧めるようになったが、進学校としての意識が薄れたことも窺える。

##### イ 近隣中学校 (20校) への聴き取り

###### (ア) 「医療コース」の取組として良いもの (各中学校2つまで)



(イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・生徒達の希望職業に医療関係が増えてきているようにも感じるため、専門性のあるカリキュラムで学ぶことは有意義だと感じます。
- ・医療・福祉コース設置により人気が回復したと思う。
- ・医療・福祉は、社会保障に不可欠なものであり、これからの人材不足を解消するための取組みが必要だと思います。より良い社会を築くため、有能な人材を育成していただきたく思います。
- ・医療・福祉関係の仕事をするための高い倫理観と使命感を体験的な実習を通して身につけ、志を高く持って意欲的に学ぶ生徒を育成する、地域と共に歩む魅力ある学校としての発展を願っています。
- ・医療・福祉コースがメインであるかのように、中学校の生徒は捉えてしまっていることが多い。
- ・高校からの説明や宣伝がより必要だと感じる。
- ・近隣の医療施設との関わりをより確かで有益なものにするための制度上のメリットを追求していくとよりよい方向へ向かっていくように思います。

(5) 福祉コース

ア 長狭高校への聴き取り (抜粋)

(ア) 「福祉コース」の目標や特色

目標：福祉に関する関心を高め、福祉系大学・専門学校等への進学及び福祉関連会社・機関への就業を目指し、福祉現場で活躍できる人材を育てる。

特色：・1学年全員が学校設定科目「生活と医療福祉」を履修し、福祉に関する基礎知識を身に付ける。

・実習を通じたキャリア形成。

・地元介護福祉施設・福祉法人・社会福祉協議会等からの外部講師による授業展開及び同施設での実習の実施。

(イ) 学習への取組

良好。やや受け身な面はあるが、真剣に取り組むことができる。

(ウ) 「福祉コース」設置の成果

福祉マインドが育っている。進路選択に役立っている。

(エ) 現在の課題

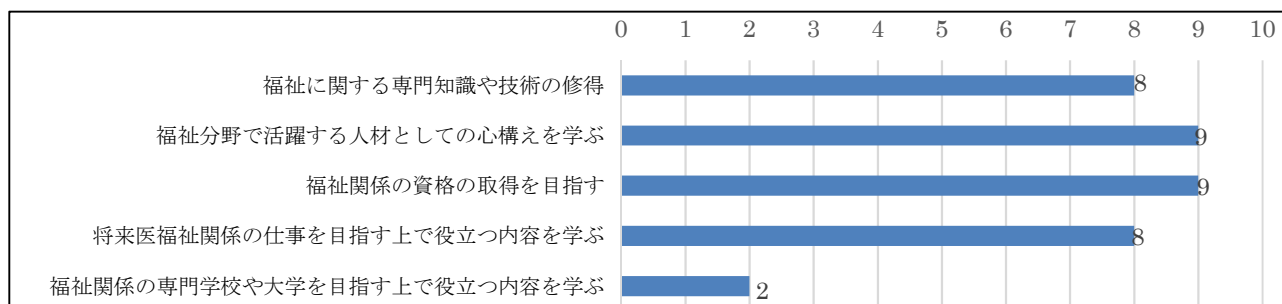
福祉コースを選択する生徒が少ない。集まらない。

(オ) 近隣中学校の状況

福祉への進路につながるコースとして概ね評価されている。一方で、長狭高校は福祉の高校というイメージが優先して、進学を目指す高校としての評価が十分ではない。

イ 近隣中学校（20校）への聴き取り

(ア) 「福祉コース」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



(イ) 中学校からの意見 (抜粋)

- ・生徒達の希望職業に医療関係が増えてきているようにも感じるため、専門性のあるカリキュラムで学ぶことは有意義だと感じます。
- ・医療・福祉コース設置により人気が回復したと思う。
- ・医療・福祉は、社会保障に不可欠なものであり、これからの人材不足を解消するための取組みが必要だと思います。
- ・医療・福祉関係の仕事をするための高い倫理観と使命感を体験的な実習を通して身につけ、志を高く持って意欲的に学ぶ生徒を育成する、地域と共に歩む魅力ある学校としての発展を願っています。
- ・医療・福祉コースがメインであると中学校の生徒は捉えてしまっていることが多い。
- ・高校からの説明や宣伝がより必要だと感じる。

(6) 工業教育拠点校

ア 千葉工業高校への聴き取り（抜粋）

(ア) 拠点校に向けての準備

千葉県高等学校教育研究会工業部会（千工研）を中心に活動する。

(イ) 拠点校としての取組

年4回の常任理事会に加え、2回の理事会を拠点校で開催し、各研究委員会の運営状況を確認している。

(ウ) 現在の課題

- ・ 職員の研修機会の拡大
- ・ 千葉県高等学校教育研究会工業部会（千工研）の高大連携委員会との連携

イ 部会加盟校の（7校）への聴き取り

(ア) 加盟校からの意見（抜粋）

- ・ 人材育成のため講演会や研修会を実施してほしい。
- ・ 県内各工業高校が成果を共有できるよう、拠点校からの情報発信をお願いしたい。
- ・ 拠点校のみならず、他校も含めて工業人材の質が向上するように取り組んでいきたい。
- ・ 専門的な知識や技術に関する教員研修の更なる充実をお願いしたい。
- ・ 今後の方向性として、若手の実習助手・教諭への実技伝達場を設定し、充実させていくべきである。1校の対応だけでは限界がある。

(7) コンソーシアム

ア 事務局千葉工業高校への聴き取り (抜粋)

(ア) 企業、大学、関係機関、行政等とのネットワークの構築

- ・拠点校である千葉工業高校に事務局を設置し、企業、大学の会員情報を管理している。

(イ) コンソーシアム会員の協力体制

- ・コンソーシアムが今後取り組むべき事業について、前向きな意見が多数寄せられている。

(ウ) 工業科設置校の協力体制

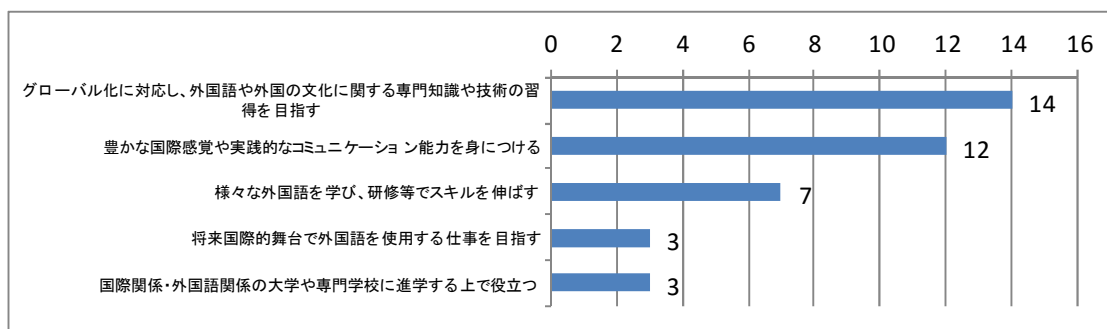
- ・事務局に対する協力体制は良好である。
- ・その一方で、事務局である千葉工業高校と異なる学科を設置している学校からは、どのように拠点校とかかわりを持つべきか悩む声も聞かれる。

(エ) コンソーシアム会員からの意見等の教職員への周知や反応など

- ・各校で、出席者の意見等が供覧された後の反応について、丁寧に説明し、コンソーシアムの参加者に理解を求めていくことが必要である。

イ 部会加盟校（7校）への聴き取り

(ア) コンソーシアムの取組として期待したいもの（各校2つまで）



(イ) 加盟校からの意見 (抜粋)

- ・工業系人材育成コンソーシアムとして、人材育成のための講演会や研修会の実施など企画してほしい。また各学校で行っているインターンシップの実施計画をコンソーシアムが主体となって行ってもらえると学校の負担が軽くなる。

(8) 緑地管理コース

ア 鶴舞桜が丘高校への聴き取り（抜粋）

(ア) 緑地管理コースの目標や特色

市原市はゴルフ場が多いことから、地域で活躍できる人材の育成を目標にゴルフ場への就職に向けた学習を行っている。

(イ) 学習への取組

緑地管理の授業に積極的に取り組んでいる。

(ウ) 緑地管理コース設置の成果

進路目標が明確であり、積極的に学習に取り組むことができる。

(エ) 現在の課題

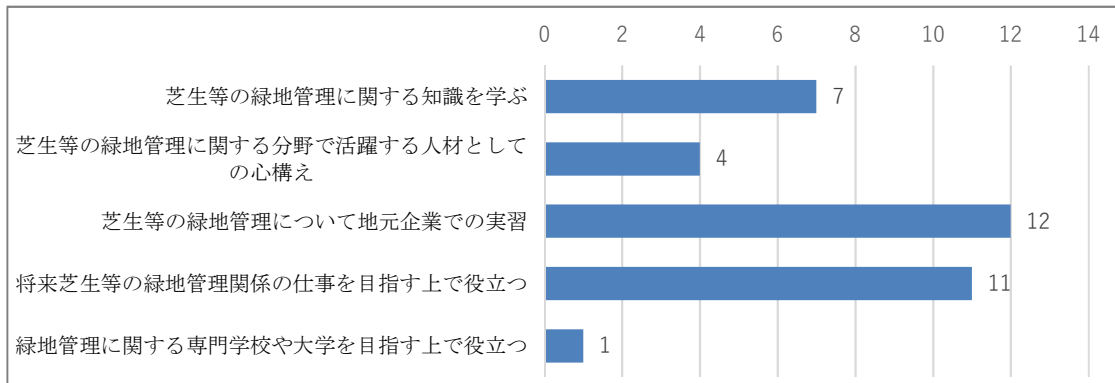
今まで以上にゴルフ場や造園関係への就職を増やしていきたい。

(オ) 近隣中学校の状況

地元のゴルフ場等への就職を目指す学習内容に一定の評価を得ている。

イ 近隣中学校（18校）への聴き取り

(ア) 「緑地管理コース」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



(イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・中学校の生徒たちに芝生や芝庭の持つ魅力をもっと体験させてあげることが大事だと思う。そのような体験が将来の職業選択の一助にもなると思う。
- ・地元企業とのパイプをどれだけ太く確保できるか。



(9) 「防災の学び」

ア 銚子高校への聴き取り（抜粋）

(ア) 学びの目標や特色

全ての災害発生時に適切な判断を行い、自らの安全を確保し、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。

(イ) 学習への取組

生徒は講義、講演についてはよく聞き考えを深めている。特にワークショップ形式のものについては積極的に取り組んでいる。

(ウ) 「防災の学び」導入の成果

- ・ 自然災害のメカニズムの理解とその対処方法の知識習得について向上が見られる。
- ・ 防災宿泊研修を通して災害時の避難所運営に興味を持つ生徒が多く見られる。

(エ) 現在の課題

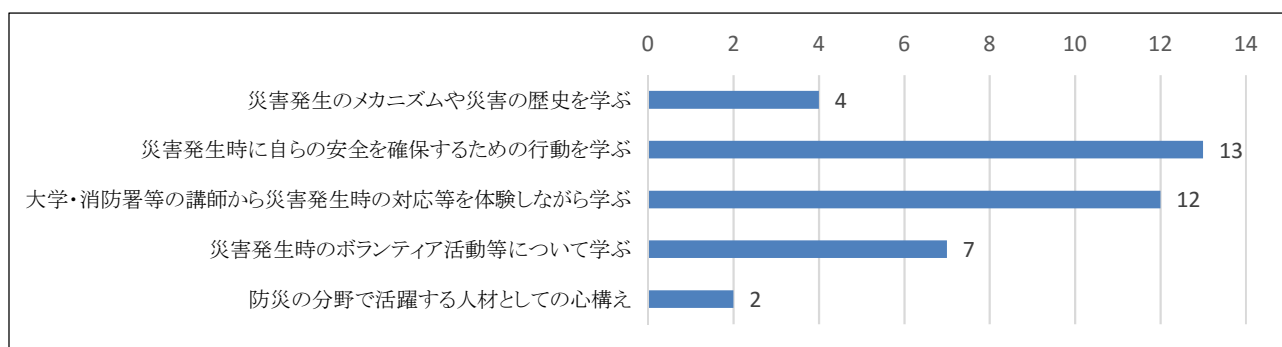
防災の知識を学ぶことの比重が大きく、ワークショップで考える形式や実技体験の比重は小さいのが現状であり、学びを継続していけるように、指導体制の改善が必要である。具体的には、防災委員会を活用するなどにより、学校全体での取組としていく必要がある。

(オ) 近隣中学校の状況

近隣小中学校における防災避難訓練及び防災学習で本校防災担当教諭への派遣依頼があったり、「防災教育基礎講座」地域開放講演会に中学校教員が参加したりするなど、防災教育を行っている学校としての認識が深まりつつある。

イ 近隣中学校（19校）への聴き取り

(ア) 「防災の学び」の取組として良いもの（各中学校2つまで）



(イ) 中学校からの意見（抜粋）

- ・ 少子高齢化と過疎化が進む銚子にとっては、災害時の働き手は貴重である。地元への一層の貢献を期待したい。
- ・ 関係機関や地域とも連携した素晴らしい実践を行い、成果も十分に表れていると思われます。
- ・ 中・高の連携を一層密にしていきたい。いっしょに学び体験できる機会を増やしていただけるとありがたい。

### 3 外部・関係団体の意見

#### (1) 意見聴取先（五十音順）

##### ア 全般的に聴取した団体

- 千葉県高等学校長協会
- 千葉県高等学校PTA連合会
- 千葉県中学校長会
- 千葉県町村教育長協議会
- 千葉県都市教育長協議会

##### イ 各コース等について聴取した団体

- （株）石勝グリーンメンテナンス〔緑地管理コース〕
- 柏市医師会〔医歯薬コース〕
- 亀田医療大学〔医療・福祉コース〕
- 鴨川市社会福祉協議会〔医療・福祉コース〕
- 高度ポリテクセンター〔工業教育拠点校、コンソーシアム〕
- 淑徳大学〔教員基礎コース〕
- 館山市立北条小学校〔教員基礎コース〕
- 千葉科学大学〔防災の学び〕
- 千葉県健康福祉部〔医療・福祉コース〕
- （有）千葉グリーン技研〔緑地管理コース〕
- 千葉県商工労働部〔工業教育拠点校、コンソーシアム〕
- 千葉県防災危機管理部〔防災の学び〕
- 千葉工業大学〔工業教育拠点校、コンソーシアム〕
- 千葉市立小中台小学校〔教員基礎コース〕
- 千葉大学〔教員基礎コース〕
- 銚子地方気象台〔防災の学び〕
- 筑波大学〔理数に関する学科〕
- DIC総合研究所〔理数に関する学科〕
- 東葛病院〔医歯薬コース〕
- みさと健和病院〔医歯薬コース〕

#### (2) 主な意見

##### ア 全体を通しての意見

- ・それぞれの高校に進学した場合、どのように先につながっていくのか、現実がどうなっているのか、中学生や保護者にわかるとよい。
- ・キャリア教育の観点から、早く職業を意識づけるために専門学科を設置することは大変意義あることである。
- ・生徒の減少が続く中での地域格差が益々拡大している。また、雇用状況にも変化があり、職業系の高校の存続が厳しくなっている。そのため、特色ある職業高校・学科の改革及び設置は必要不可欠だと考える。

- ・中学校からの意見に多く記載されているように、生徒・保護者等にもっと情報発信する必要がある。
- ・特別授業や実習・体験等が必須になっている高校では、学校行事や部活動との両立が厳しいとのアンケート結果が出ている。高校生として人格形成に欠かすことができない部活動等の存在は大きなものであり、スケジュールの調整等が求められる。

#### イ 教員基礎コース（千葉女子高校、安房高校）についての意見

- ・将来教師を目指す生徒が、教員として基本的な素養を身に付け、小中学校での体験活動を通じて教員としての勤労観・職業観を身に付けることは大いに評価できる。
- ・児童にとって高校生に教えてもらえることはとても意義がある。中学生も職場体験で来校するが、中学生に比べて高校生は目的意識が強く感じられる。
- ・教職課程を履修する大学生との交流は必要不可欠である。身近なところに目標とする人がいるということは貴重である。
- ・教員基礎コースを終了した生徒にとって、入学試験や大学での単位認定などメリットがあるとよい。

#### ウ 医歯薬コース（東葛飾高校）についての意見

- ・不足する医療従事者の育成を目的としてコース設置に携わってきたが、今でもコースの果たす役割は受験能力や技術の向上ではなく、医療従事者としての資質を身に付けることであると思っている。
- ・難関医学部進学を目標にカリキュラム等が設定されていると思うが、学力面だけの育成に偏ることがないように、人間形成（医は仁術）にも力を注いでもらいたい。
- ・課題発見やそれを解決するためのプロセスは科学研究の方法に通ずるものであり、「医歯薬コース」を選択することで、そのプロセスを経験できることは大変貴重である。
- ・医療従事者になりたいという気持ちを育みながら、人間を相手にする仕事であるという十分な理解と人と接することが好きになるようなきっかけも「医歯薬コース」の目標にしていきたい。

#### エ 理数に関する学科（佐倉高校）についての意見

- ・理数離れがさげばれて久しくなる。理数教育を重視した学科設置には大いに期待したい。
- ・大学や企業との連携により、先進の学びや技術について触れる場面があることは大切である。
- ・企業は高校との連携を社会貢献として積極的に捉えている。準備は大変だと感じているが、実施してみるとやってよかったという意見が多い。高校から依頼するときに、何が目的で何をしたいかを具体的に示してくれるとよい。
- ・定員割れや学科の廃止にならないよう教育実践の充実と広報活動等をお願いする。

#### オ 医療コース（長狭高校）についての意見

- ・医療の人材は不足し、この地区は人口流出も続いているため、高校生が将来地元で就職することを意識し、様々な立場の人が連携したこのコースは地域を守るものとなっている。
- ・通常、病院に勤務すると一つの部署しか知らないが、病院全体のことを知っている長狭の生徒はとても恵まれている。チーム医療をよく理解している。

#### カ 福祉コース（長狭高校）についての意見

- ・とても期待している。地元は人材不足に悩んでいる。地元の高校を出て地元就職してほしい。
- ・福祉の職について、イメージが悪い点を気にしている。卒業生に福祉職を目指した理由を聞き、それを生徒に伝えたり、高齢者や障がい者の体験をする授業を行い福祉分野に興味を持つきっかけを作ったりするのはどうか。
- ・今後、高齢者が増える中、介護に必要な専門知識や技術を習得している人材が多く求められる。千葉県の人口分布をもとに、将来設計（設置校）の検討もお願いする。

#### キ 工業教育拠点校（千葉工業高校）についての意見

- ・期待の高いプランと考える。工業部門の発展は日本の将来を左右するものであり、先進的な情報を得ることは重要な課題である。特に資格取得を可能とすることは、生徒たちの目標となり、意欲的な取組ができると考える。
- ・工業教育の研究・開発を一層推進することは重要だと考える。工業高校の特色を活かした各専門分野を更に深めていただきたい。
- ・技術革新が進む中、工業高校（科目）の変更が中学校の生徒たちに十分な情報提供がないまま進められているように思える。そのことが定員割れを生じさせているのではなかろうか。
- ・底上げを図る力とはどのような力なのか、企業側と考え方をすり合わせていくことが必要である。

#### ク コンソーシアム（千葉工業高校）についての意見

- ・何か一つの企画を小学校、中学校と一緒に取り組む、また大学とコラボするなどの工夫をするとよい。企業が実施することに高校が賛同するというパターンでもよい。この方が広報もしやすいし、メディアにも大きく取り上げられる。
- ・漠然とした設定であるため具体的な姿がわかりにくい。目的や目標を明確に示す必要がある。
- ・千葉県のポテンシャルを十分活用するためにも、県内企業との連携は不可欠である。ぜひ県立工業高校の存在感を発揮していただきたい。

#### ケ 緑地管理コース（鶴舞桜が丘高校）についての意見

- ・千葉県ならではのコース設置である。地域観光産業としてゴルフ場を視野に入れたことは大いに評価できる。
- ・豊かな自然（造園やガーデニング等）の活用をぜひお願いしたい。以前設置されていた園芸高校での専門分野が復活されることを望む。
- ・過疎地域の高校だけにコースを設置するのではなく、都市部の高校にも造園・栽培等のコースがあってもよいのではないか。
- ・市原地区はゴルフ場が多い。地元の産業を地元の人材で守っていききたい。そのため、地元の高校に緑地管理コースがあるのはとても嬉しい。
- ・緑地管理について専門的に学べているので就職活動で有利になる。また、今後は、専門分

野別のコースへのニーズが高くなると思う。

#### コ 防災の学び（銚子高校）についての意見

- ・生徒には防災について学ぶことで、自らトラブルにも立ち向かうという人生の向き合い方についても学んで欲しい。
- ・災害を経験した者は、自分だけではなく、家族や愛する人のために立ち直ろうとしている。つまり、相手の立場に立って考えられるようになることが防災について学ぶ意義である。
- ・「防災の学び」は様々な事象や防災に関する用具等を実際に知ることで、適切な選択能力を養う学びである。
- ・東日本大震災から学ぶ点は多くある。特に千葉県自然环境から防災教育の重要性は高くなっている。海沿いの高校に限らず、すべての高校で科目履修が必須かと考える。
- ・銚子高校の教育内容から、他校でも取り入れられるものがあるとよい。自助、共助、公助の精神で、命を守る教育を推進していただきたい。

## 4 基礎データ

### (1) 志願状況

#### ア 教員基礎コース

##### 千葉女子高校・普通科

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
H25	280	168 (60%)	249	1.48	112	145	1.29	
H26	280	168 (60%)	288	1.71	113	166	1.47	コース設置
H27	280	168 (60%)	298	1.77	112	167	1.49	
H28	280	168 (60%)	262	1.56	112	127	1.13	
H29	280	168 (60%)	254	1.51	112	157	1.40	

##### 安房高校・普通科

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
H25	280	168 (60%)	314	1.87	112	137	1.22	
H26	280	168 (60%)	280	1.67	115	110	0.96	コース設置
H27	240	144 (60%)	272	1.89	96	121	1.26	
H28	240	144 (60%)	244	1.69	96	101	1.05	
H29	240	144 (60%)	283	1.97	98	130	1.33	

#### イ 医歯薬コース

##### 東葛飾高校・普通科

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
H25	360	216 (60%)	560	2.59	144	300	2.08	
H26	320	192 (60%)	545	2.84	128	287	2.24	コース設置
H27	320	192 (60%)	584	3.04	128	333	2.60	
H28	320	192 (60%)	536	2.79	129	269	2.09	
H29	320	192 (60%)	487	2.54	129	252	1.95	

ウ 理数科

佐倉高校・理数科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H25	-	- (-%)	-	-	-	-	-	
H26	40	32 (80%)	49	1.53	8	19	2.38	学科設置
H27	40	32 (80%)	47	1.47	8	16	2.00	
H28	40	30 (75%)	63	2.10	11	19	1.73	
H29	40	30 (75%)	52	1.73	11	17	1.55	

エ 医療・福祉コース

長狭高校・普通科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H25	160	96 (60%)	192	2.00	64	88	1.38	
H26	160	96 (60%)	171	1.78	64	74	1.16	コース設置
H27	160	96 (60%)	175	1.82	64	76	1.19	
H28	160	96 (60%)	172	1.79	64	74	1.16	
H29	160	96 (60%)	151	1.57	64	58	0.91	

オ 工業教育拠点校・コンソーシアム

千葉工業高校・工業科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H25	240	192 (80%)	270	1.13	48	64	1.33	
H26	240	192 (80%)	244	1.02	48	53	1.10	拠点校等開始
H27	240	192 (80%)	308	1.28	48	74	1.45	
H28	280	280 (100%)	322	1.15	-※	-※	-※	※前期選抜のみで充足した
H29	280	280 (100%)	313	1.12	2	4	2.00	

カ 緑地管理コース

鶴舞桜が丘高校・食とみどり科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H25	80	56 (70%)	34	0.61	48	5	0.10	
H26	80	56 (70%)	60	1.07	24	10	0.42	コース設置
H27	80	56 (70%)	35	0.63	49	18	0.37	
H28	80	56 (70%)	45	0.80	40	10	0.25	
H29	80	56 (70%)	54	0.96	28	12	0.43	

キ 防災の学び

銚子高校・普通科

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
H25	200	120 (60%)	207	1.73	80	95	1.19	
H26	160	96 (60%)	210	2.19	64	97	1.52	学びの導入
H27	160	96 (60%)	185	1.93	64	80	1.25	
H28	160	96 (60%)	175	1.82	64	75	1.17	
H29	160	96 (60%)	147	1.53	64	80	1.25	



(2) 平成 28 年度進路状況

ア 千葉女子高校、安房高校の教員基礎コース卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	60	84%	千葉大学、東京学芸大学、愛知教育大学、 学習院大学、川村学園女子大学、淑徳大学
専門学校等	4	6%	中央医療技術専門学校、 横浜リゾート&スポーツ専門学校
就 職	2	3%	航空自衛隊、 ウォームキッチンズ株式会社
そ の 他	5	7%	進学予定
	71	100%	

イ 東葛飾高校の医歯薬コース卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	17	42%	国際医療福祉大学（医）、徳島大学（薬）、 筑波大学（生命環境学）、東京学芸大学（教育学）
専門学校等	0	0%	—
就 職	1	3%	防衛大学校
そ の 他	22	55%	進学予定
	40	100%	

ウ 佐倉高校の理数科卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	25	64%	北海道大学、東北大学、東京工業大学、 千葉大学、早稲田大学、慶応大学
専門学校等	0	0%	—
就 職	0	0%	—
そ の 他	14	36%	進学予定
	39	100%	

エ 長狭高校の医療コース卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	12	52%	亀田医療大学、千葉県立保健医療大学
専門学校等	11	48%	亀田医療技術専門学校、君津中央病院附属看護専門学校、昭和医療技術専門学校
就 職	0	0%	—
そ の 他	0	0%	—
	23	100%	

オ 長狭高校の福祉コース卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	1	11%	—
専門学校等	5	56%	安房医療福祉専門学校、中央介護福祉専門学校
就 職	3	33%	亀田総合病院、社会福祉法人太陽会
そ の 他	0	0%	—
	9	100%	

カ 鶴舞桜が丘高校の緑地管理コース卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	0	0%	—
専門学校等	2	15%	千葉県立船橋高等技術専門学校
就 職	13	85%	鶴舞カントリークラブ、浜野ゴルフクラブ
そ の 他	0	0%	—
	13	100%	

キ 銚子高校の防災の学びの卒業生

種 別	人 数	割合	主な進路先
大学・短大	79	49%	千葉科学大学、城西国際大学、国際医療福祉大学
専門学校等	40	25%	大原簿記公務員
就 職	16	10%	消防士、警察官、公務員（一般事務）
そ の 他	26	16%	進学予定
	161	100%	

(3) 資格取得状況

ア 長狭高校・福祉コース選択者

資 格	受験者	合格者	割合
介護職員初任者研修修了者	9	9	100%